ジオパークだより

vol. 83

uminowa うみのわ Tosakushi Visitor Center

日本ジオパーク新規加盟をめざして…

土佐清水の大地を知る！

今月は、「ジオパーク目指すくらいだから、土佐清水の大地ってよくわかんないけど、すごいんだよね？」という声に森口専門員がずばりお答えします。そう、土佐清水の大地はすごいんです！

ジオパーク専門員のおねえさんだ！ねえ、土佐清水の大地って何がすごいが？ジオパーク目指すくらいやけん、すごいがでねぇ。

そう、すごいよ！一言ですごさをまとめるのは難しいんだけど、土佐清水には「生きている惑星、地球」を実感できる場所がたくさんあるよ。特に日本列島ができた頃に大地が激しく動いた地層を観察できるよ！

え！？大地が動いた？日本列島ができた？どういうこと。

そう、地球は生きていて、その表面の大地は動いているよ。地球の時間スケールはとても大きくて、46億年前にできて、少しずつその姿を変えながら現在まで続いているんだよ。一番下の図を見て。これは、土佐清水の大地がどうやってできたかを表したもの。左から順番に見てみよう。

■ 3800万年前～　深い海の記憶

土佐清水の大地は3800万年前に海底でできた地層が土台となっているよ。海のプレートが陸のプレートの下に沈み込んで、海底の砂や泥などが大陸側に押し付けられたんだ。こうしてできた地層を付加体と呼ぶよ。この頃の日本列島はまだユーラシア大陸の一部だったんだ。

■ 1700万年前～　浅い海の記憶

この時代は日本列島が大きな地殻変動で激しく動いて、大陸の端から今の位置まで移動してきたんだよ。三崎地区周辺の地層は、その頃、活発に隆起していた山から運ばれてきた砂や泥が浅い海にたまったものだよ。さて、ここで問題。右の写真、どこの地層かわかる？⇨

変わった形の岩だから竜串の奇岩かな？

正解！これは竜串海岸散策のハイライトの一つ、「しぼり幕」という奇岩だよ。このぐにゃぐにゃは地震の後に起こった液状化現象によってできた模様なんだよ。竜串海岸にはいたるところにこのようなぐにゃぐにゃした地層がたくさんあって、これらの地層は、当時、活発に大地が動いていた記録なんだ。

1700万年前って大変な時代だったんだね。

そう。その頃の生き物の巣の化石も竜串にはあるんだけど、数も少なくて、大変な環境だったのがわかるよ。

今は穏やかな海やに、全然違うがやね。地層とか化石を見たらそんなこともわかるがや、すごいね。

■ 1300万年前　マグマの記憶

1500万年～1300万年くらい前には、今は火山がない日本列島の太平洋側のあちこちでマグマ活動が活発だったんだ。その頃の岩石が見られるのが足摺岬のあたり。足摺とか松尾の海岸はほかの海岸と岩の色が違うのわかる？

そういえば、足摺岬の断崖は白っぽいね。

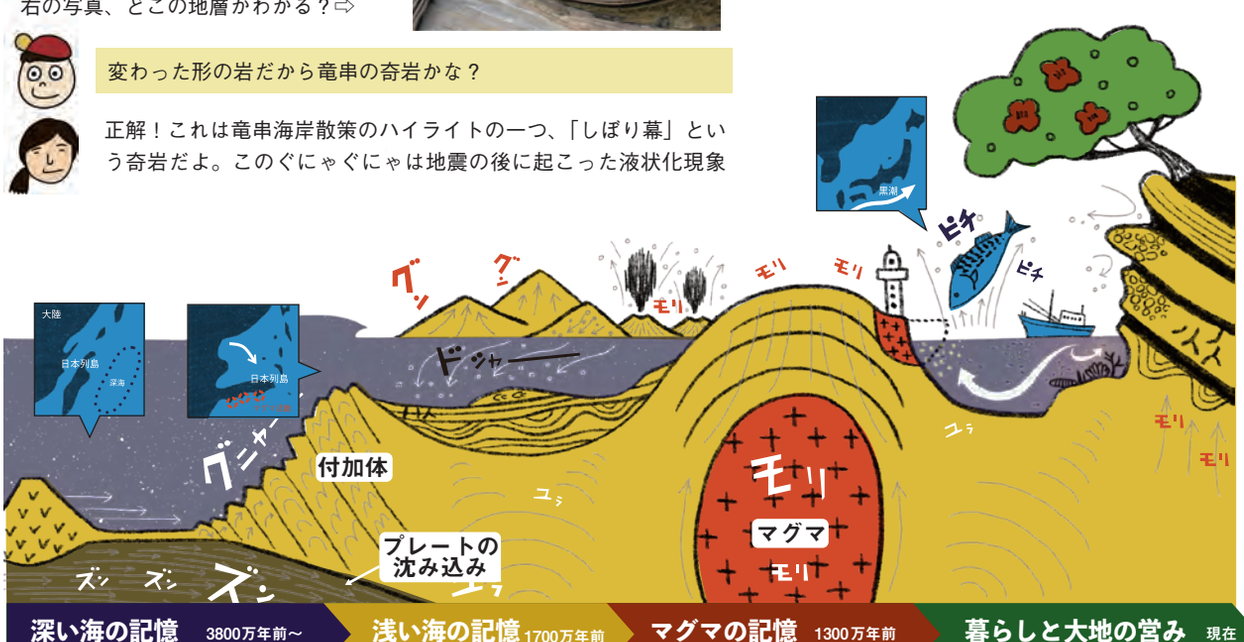
そう、足摺半島の先っぽは、マグマが冷えて固まった花崗岩（かこうがん）という岩でできているんだ。マグマが地下深くで冷えて固まったものが、そのあとの隆起と侵食で地表に顔を出したものなんだよ。

■ 現在　暮らしと大地の営み

土佐清水のおいしい魚に、宗田節、サンゴやウミウシのいる豊かな海、そういうものも大地の営みが深く関係しているよ。大地と黒潮が出会うことで、温暖な気候や豊かな漁場、人や文化が土佐清水にもたらされて、土佐清水らしい風土を作ってきたんだよ。地層や岩だけでなく、今の私たちの暮らしなどからも大地のつながりを知って、「生きている惑星、地球」を感じてほしいな。

なんか、土佐清水のこと、そして地球のことを前より少し好きになった気がする。

いいね。地域や地球のことを知って大切にして、よりよい未来を作っていこうっていうのがジオパークの考え方だよ。これからもよろしくね！



次回予告！

こちらは新たに着任した土井専門員。来月は土井専門員にあれこれ語ってもらいます。

発行
土佐清水ジオパーク推進協議会　〒787-0450 土佐清水市三崎今芝 4032-2
TEL　87-9590　　MAIL　geopark@city.tosashimizu.lg.jp
WEB